

28 モロハタマキビ  
*Lacuna carinifera*

(タマキビ科)

兵庫県ランク:C

環境省ランク:NT

種の概要

北海道南西部から九州北部に分布。湾内の低潮帯から潮下帯に成育するアマモ・コアマモ等海草類の葉上に生息する。大きな個体で殻長10mm程度になる。殻はそろばん玉形で殻頂は小さく尖り、体層周縁に強い螺状稜角がある。殻表は弱い成長脈のほかは滑らか。黄褐色の殻皮に覆われる。臍孔は狭いが明瞭に開き、その周辺も稜角がある。蓋は角質。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	○			○

県内分布

たつの市、洲本市

県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。淡路島では中部内湾のアマモ場で、夏場に殻長2~3mmの個体がアマモ葉上(特にアマモの葉の分かれ目の間)で多く見られるが、年による個体数の変動がある。成長した個体は今まで死貝のみである。播磨西部では時折死貝が採集されるが、生貝は極めて希産。

保護上の留意点

潮通しのよいアマモ場を保全する。



写真提供：川渕千尋



写真提供：川渕千尋

【執筆者】 川渕千尋